

人権映画会 「そして父になる」を見て

7月12日(土)、清水文化センターに於いて人権映画会「そして父になる」を開催しました。参加された方から感想文をいただきましたので、ご紹介いたします。

6歳まで育てた息子が、実は出生時に取り違えられた他人の子でもあった、ということがわかり苦悩する家族達。その苦悩の中で親として成長していく様子が浮き彫りにされた映画でした。

「子どもにとって幸福とはどういうことなのか」を考えさせられました。大人の身勝手な考えが時として子どもの心を無視していないだろうか。

相手が小さな子だからといって、親の考えを無理強いしていいのだろうか。

主人公の父親は仕事に心血を注ぎ、家庭のこと・子育てのことは妻任せなのに、将来の進路まで考えた

言動。もう一方の父親は、主人公の父親とは違ってかわって子煩悩でしつかりと遊び相手になってあげ、腕白息子を誇らしく思っている、というふうに分けられました。

二人の息子たちの気持ちも考えず、どうしたら血のつながりのある子を自分の家に迎え入れることができるのかあせる親。その都度困惑する子ども達の表情を見て「早く自分たちのしていることに気付いてよ」と強く思いながら観ました。最後にはやはりそれまでの親の元で暮らすことになり本当に安心しました。

この映画の感想を書かせていただくことで、私も自分の子ども達に親として無理な押しつけをしてきていなかったかと振り返る良い機会となりました。

60代女性

ご協力いただきましたアンケート結果の一部をご紹介します

感想

今日の映画はいかがでしたか？

○感情移入して見る事ができ、とても感動的な作品でした。自分の子どもが出来たときは触れあう時間を、多くとろうと思います。

20代男性

○最後の結末がハッキリしなくて、考えさせられる映画でした。でも、感動しました。

50代女性

○すごく考えさせられながら、最後まで観た映画でした。答えは、どう考えても正解はないのかなど：血の濃さが大事なのも分かるけど、何が大切なのかは違うし、親は子を選べても、子は親を選べないということだから。子どもの人権を思わなくてはいけないと、改めて思いました。

50代女性

お知らせ

9月18日(木)、人権特設相談所を開設いたします。

相談は無料で、秘密は厳守されます。

●場所／きび保健福祉センター

●時間／13時から16時まで

◎9月8日(月)～14日(日)は、

全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間です。高齢者や障害者に関する人権について何でも相談できます。

相談は無料で、秘密は厳守されません。法務局の職員又は人権擁護委員が相談に応じますので、日頃の悩みをお気軽にご相談ください。

全国共通人権相談ダイヤル

☎0570-003-110

受付時間

・9月8日(月)～12日(金)

8時30分～19時

・9月13日(土)、14日(日)

10時～17時

*相談は無料で相談内容の秘密は守ります。

問い合わせ

和歌山地方法務局／和歌山県人権擁護委員連合会

■人権に関するお問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課

TEL 52-2111

FAX 32-4827